

特 116

8621

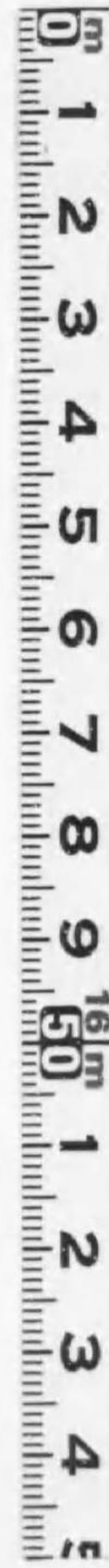
若原孤山著

孤山流

尺八入門

全

第三版



始



若原孤山香

流山孤

尺

八

入

門

特116
8621

若原孤山著

孤山流

尺八入門

第三版

尺八入門序

近時吾邦の音楽は日に月に隆盛の運に向ひ斯道を學ぶ者亦甚多し然れ共其多くは尺八樂本來の樂理に反き徒らに音色のみを弄するもの或は樂理に迷ひて間拍子のみを學ぶもの等に一方に偏し以て尺八の眞味を没却するに至るものあるを見る現今良師も數多各地に散在し良書各肆に充棟せり然れ共多くは其一方に偏したる師書にして實に隔靴痒痛の感あらしむ眞に斯道の爲め嘆せざるを得ず予斯道の指南を爲す茲に年あり其間に於て得たる結果として畧完全なる譜式を作り其要領の文字を以て顯し得る限り小冊子に著し世間同好の士に頒ち獨習の師たらずも徒然の伴伍たらしめんとす然れ共恐る著者の淺學無識なる必ずや識者の一笑を招かん乞ふ垂教の勞を惜む莫れ予の作曲に關しては太宰大檢校土岐檢校其他音楽指針會員諸氏の箏三絃に依りて受けたる功多し篤に記して感謝の意を表す

明治辛亥の歲初夏米のなる木の旭河畔にて

小波の音を聞つゝ

松風軒 若原孤山誌

孤山流尺八入門目次

一 尺八保持法	一頁
一 姿 勢	全
一 吹奏法心得	全
一 箏、三絃と當流尺八の調律法	二頁
一 音譜記號	四頁
一 音の高低	七頁
一 拍子符號	八頁
一 諸種の記號	一一頁
一 重復譜の奏法	一三頁
簡易尺八音譜	自第一 至第二十二

尺八保持法

卷頭に示す如く構へ右手の第四指にて第一孔を第二指にて第二孔を塞ぎ左手の第四指にて第三孔を第二指にて第四孔を第一指にて第五孔を塞ぎ右手の第三指第一指及左手の第三指とにて確に尺八全体を保持すべし孔を塞ぐべき指は終始保持力なき性質のものなり

姿勢

坐奏にありては正しく坐し腰を前に進め胸を張り脊を灣曲せしむべからず、椅子に掛る時も上体は坐奏同様と心得べし立奏にありては兩足を揃へ足尖を少しく外方に開き決して足踏又は足を踏み開き杯不行儀に渉るべからず慎むべき事なり

吹奏法の心得

音楽は種類の何たるを問はず虚心平氣にして生ける神の如き心を以て奏せざる

べからず就中尺八は呼吸音楽中の樂器なれば呼吸加減頗る緊要なり故に奏樂に際し心靜に管を探り徐ろに奏すべし

箏三絃と富流尺八の調律法

現今外曲に於ける尺八曲の箏三絃に對する調律の法を述ぶ但し本篇に於ては各種の變調に係る分は除き(次篇にて示す)二三例を掲ぐ

左記圖解に對する説明左の如し

一、表中基礎音は當流に於ては雅樂箏俗箏三絃の基礎音と少しく異なる点あれ共「レ」を以て基礎音と定めたり

二、表中「一」乃至「十」及「斗爲巾」は箏三絃の絃の名稱にて開放絃の音なり

三、本表は箏三絃に用ゆる一越より上無に至る十二律の稱呼を主とし尺八の音譜稱呼を客分として記載せり

四、尺八に於ける十二律も本表にて知得するを要す

(全) ツ ニ 全 シ	(全) ロ ニ 全 シ	(全) ハ ニ 全 シ	(全) ニ 全 シ	(全) ハ ニ 全 シ	(全) ロ ニ 全 シ
ヒ	リン	ラ	ウ	井	リ
○	○	○	●	●	○
●	●	●	●	●	○
○	●	○	○	○	●
○	●	○	○	○	●
○	●	○	○	○	○
甲のみ	右全	乙のみ	甲乙共	甲のみ	乙のみ

右の外ヤ、ホロ、等の音譜を用ゆる場合あれ共爰に略す

音律の高低

律呂と云ふ事あり十二律中六律六呂の言より出づと知らる即ち陽と陰とを言ふものならん又律とは甲音呂とは乙音なりと言ふ人あり學説は措きて同種のもの貳個ある時に用ゆる名稱と思ふべし又甲(かん)乙(をつ)をアガル、マイルと稱す

るものあれ共尺八にては低音十二律を乙と云ひ中音十二律高音三律を甲と稱す(高はヒ、ビ、タ、を云ふ)

メリ、カリ、とは或る孔より吹き出す音を高く吹く(通常ヨリ半音高を「カリ」と云ひ低く吹く(通常ヨリ半音低)を「メリ」と云ふ音旋の高低は順次に上下するを定則とす故に譜中甲又は乙の記註を省略する場合ありそは甲にて吹くべき記註内にある乙にしてツ^甲ツ^乙口^乙等の次に來るハ^乙ハ^乙イ^乙ビ等は無記註にても乙にて吹き又乙にて吹くへき記註内にあるチ^乙ハイ^乙ビ等の次に來る口^乙ツ^乙ツ^乙等も亦無記註なれど甲にて吹べし凡て音旋前後の關係にて判斷を要す但し練磨の功にて遂には無記註にても適當の吹奏を爲し得るものなり

拍子符號

音譜の名稱は前記圖解にて了解せるならん然れ共尙吹奏及休止時間の長短を知るを要す今左に一表を以て説明す

孤山流ニ用ユル拍子符號

名稱	拍子	符號	號	摘要
全音符	四拍子	口——		二分音符又ハ四分音符と稱するは余音符に對して二分の一又は四分の一音符と云ふに同じ
全休止符	四拍子	○		
二分音符	二拍子	口		
二分休止符	二拍子	○		
四分音符	一拍子	口		
四分休止符	一拍子	○		
八分音符	一拍子ノ半拍子	口 又ハ 口ト		
八分休止符	半拍子	、		
十六分音符	全四半拍子	口口口口 又ハ 口		
十六分休止符	四半拍子	∨		

三十二分音符	全八半拍子	口口口口 口口口口 又ハ 口	音符の下に短縦線及休止符の下に短横線を畫く之を半加線と云ひ各音符又は休止符の半分の時間を加ふるものなり
三十二分休止符		∨	
二分ノ三音符	六拍子	口——	
二分ノ三休止符	六拍子	○—	
四分ノ三音符	三拍子	口	
四分ノ三休止符	三拍子	○—	
八分ノ三音符	一拍子半	口	
八分ノ三休止符	一拍子半	○—	
十六分ノ三音符	一拍子ノ四分ノ三	口 又ハ 口ト	
十六分ノ三休止符	四分ノ三	∨	

注意音符とは吹奏時間、休符とは休息時間を言ふ

孤山流尺八教授曲目及公賣音譜目錄

菜の葉	冬の曲	初瀬川	七小町	三十錢
黒髪	吾妻獅子	養老の曲	熊野	四十錢
鶴の聲	四季の詠	鶴龜の曲	青柳	四十錢
八千代獅子	明治松竹梅	新玉の曲	千代の鶯	四十錢
七草	西行櫻	七段	融	四十錢
ゆき	根曳の松	春の壽	八重衣	六十錢
千鳥の曲	尺八入門	八段	五段碓高	各三十錢
松の壽	松盡し	玉川	外一本曲	
巖上松	祝の曲	九段	古曲及新曲	
松上鶴	小野の山	松の榮		
新雪月花	秋の七草	松の榮		
茶音頭	秋津洲	杜鵑の曲		
凱歌の曲	三段獅子	亂		
越後獅子	狐の嫁入	若菜		
秋の言葉	袖時雨	里の曉		
御國の譽	金剛石	嵯峨の秋		
磯千鳥	水は器	吉野天人の曲		
春の曲	大内山の曲	今小町		
夏の曲	五段調	住吉詣		
さむしろ	六段調	春の榮		
秋風の曲	新高砂	萩のつゆ		
楓の花	凱旋調	六歌仙		
名所土産	吹の調	春の曙		
松竹梅	櫻川	那須野		
秋の曲	川千鳥	小督の曲		
琴月	山櫻	笹の露		

重複譜の奏法

回譜或個以上重なりたる時は左の要領にて奏すべし

口	第二孔を搖る	
ツ	右 全	(第一孔を打つ場合あり)
レ	第三孔を搖る	(第一孔を打つ場合あり)
ウ	第四孔を搖る	(第三孔を打つ場合あり)
チ	右 全	(第一孔を打つ場合あり)
ハ	第五孔を搖る	(第一孔を打つ場合あり)
イ	第五孔を打つ	(第三孔を搖るも宜し)
ピ	第二孔を搖る	(第三孔を搖るも宜し)
リ	第一孔を打つ	
タ	第三孔を搖る	
タ	第四孔を搖る	(第五孔を搖るも宜し)
井	井	

尺八入門(説明之部)終

定價金參拾錢

明治四十四年七月廿五日第一版發行
大正二年三月三十日第二版發行
大正三年八月廿一日第三版發行

不許復製

岡山市大字弓之町二十七番地
著作兼 發行者 若原孫四郎
印刷者 蒲生計

岡山市下出石町百二十五番地
印刷所 旭堂活版所

岡山市弓之町二十七番地
發行所 松風軒

岡山市西中山下
發賣所 大久保翠琴堂

終

